

日本・リヒテンシュタイン公国 友好99周年記念コンサート
2018年第13回 SWISS WEEK

Mathis Bereuter マティス・ベロイター ピアノ・リサイタル

2018年3月12日(月) 18:30開演
岩手県久慈市 アンバーホール (小ホール)
共催: 久慈市教育委員会
チケット取り扱い ▶
アンバーホール tel: 0194-52-2700
二戸ショッピングセンターニコア tel: 0195-23-5000
八戸ショッピングセンターラピア tel: 0178-47-1111

2018年3月13日(火) 18:30開演
山形県長井市 長井市民文化会館大ホール
後援: 長井市、長井市教育委員会、山形新聞・山形放送
チケット取り扱い ▶
長井市民文化会館 tel: 0238-84-6051
長井タスパークホテル tel: 0238-88-1833

2018年3月15日(木) 18:30開演
新潟県新潟市 新潟市音楽文化会館ホール
共催: 新潟市
チケット問い合わせ ▶
新潟市音楽文化会館 tel: 025-224-5811
チケット取り扱い ▶
新潟市民芸術文化会館、江南区文化会館、秋葉区文化会館
北区文化会館、ヤマハミュージック新潟店

2018年3月18日(日) 15:00開演
熊本県菊池市 泗水ホール
熊本地震菊池渓谷復興支援コンサート (入場無料)
※先着受付順に入場整理券を配布いたします
後援: 菊池市、菊池国際交流協会
お問い合わせ ▶
菊池市市長公室 (上田) tel: 0968-25-7200

入場料
2500円
前売り開始
2018年
1月15日



※ 開場は、全公演開演の30分前です。
※ 未就学児の入場はご遠慮ください。

◀◀ 原萌葵
(横浜公演のみ特別出演)

2018年3月20日(火) 19:00開演
みなとみらい小ホール
第一部: 原萌葵 (特別出演 ピアノ)
第二部: マティス・ベロイター ピアノ・リサイタル
チケット問い合わせ ▶
中嶋 tel: 090-4544-1495
チケット取り扱い ▶
みなとみらいホールチケットセンター
(窓口販売のみ10~19時)

マティス・ベロイター

1993年生まれのオーストリア/ドイツのピアニスト、マティス・ベロイターはスイスのバーゼル音楽大学に12歳で入学し、Adrian Oetiker氏に師事、その傍ら即興をRudolf Rutz氏に学んだ。2013年春より、ベルリン音楽大学にてKlaus Hellwig氏の下で研鑽を積んでいる。またAnne Queffélec、Zoltán Kocsis、Piotr Anderszewski、Alexander Madzar各氏のマスタークラスに参加した。室内樂への情熱も深くJ.G.Queyras、F.Helmerson、J.P.Maintz、I.Monighetti、T.Svane、T.Demenga、C.Brotbek、N.Chastain、Artemis Quartetの各氏からも多大な影響を受けた。

2015年インターナショナルピアノClavicologneコンクール特別賞、2016年メンデルスゾーンコンクール委嘱曲最優秀演奏賞、2017年に予定されているブゾーニコンクール本選参加決定により、マティスは世界的に注目されることになった。

ドイツ連邦青少年コンクール(2007-2010)では多くの1位を受賞、ドイツ音楽協会より特別賞、シンメル社よりDiethard-Wucher賞、スイス・ミグロスカルチャー奨学賞等を受賞。

2005年のオーケストラとの協演デビュー以来、世界の主要ホールでコンサートを行っている。その他ブラウンシュヴァイククラシック音楽祭、ダンネンベルクの春、グシュタート音楽サミットをはじめとする音楽祭にも出演、その様子は新聞評でも称賛された。

「ベロイターは単に楽譜を鮮明で的確に弾くだけでなく、このロマン派の曲の心髄を存分に表現した。期待される才能である。」(David Karlin, 2013年2月8日、Gstaadにて)

数回にわたる日本ツアードリサイタルでは、ミューザ川崎シンフォニーホール、京都コンサートホール、大阪フェスティバルホール、東京ヤマハホールで演奏、また2015年には京都インターナショナル音楽学生フェスティバルに招待された。マティスの演奏活動の様子はドイツの放送局DRS2、SWR、及び日本のラジオテレビ局により放送された。

ドイツ国民学生協会奨学生、アヤメ基金支援、またドイツ・バーデンヴュルテンベルク州より再度の育英賞を受けている。

プログラム

F. シューベルト 『3つのピアノ曲』

Franz Schubert (1797-1828)

Drei Klavierstücke D 946 (1828)

Allegro assai - Allegretto - Allegro

M. ベロイター 『日の出』

Mathis Bereuter (1993*)

Soluppgång (2017)

- 休憩 Pause -

S. ラフマニノフ 絵画的練習曲《音の絵》

Sergei Rachmaninow (1873-1943)

Études-Tableaux Op.39 / Op.33

作品39 第5番 Appassionato

第2番 Lento assai

第1番 Allegro agitato

作品33 第2番 Allegro

第3番 Grave

第7番 Allegro con fuoco

第8番 Moderato

第9番 Grave

※事情により曲目は変更になることがあります。

予めご了承ください。

原萌葵:ピアノ

1995年神奈川生まれ。5歳よりピアノを始める。第4回コンコルソMusicArteステッラ部門グランプリ、第15回日本演奏家コンクール高校の部にて第1位、併せて横浜市長賞、神奈川新聞社賞受賞。第30回かながわ音楽コンクールにて高校の部最優秀賞、神奈川新聞社社長賞、コンチエルト賞を受賞。2014年、神奈川フィルハーモニー交響楽団ピアノコンチエルト第2番を共演する。2014年に東京芸術大学音楽学部附属音楽高校を卒業。卒業後渡独し、ライプツィヒ音楽演劇大学を経てロストック音楽演劇大学学士課程に在籍中。これまでに日比谷友紀子、東誠三、ゲラルド・ファウト、ベルント・ツックの各氏に師事。



Photo © Tom McKenzie

【横浜公演のみ特別出演】

L.v. ベートーヴェン (1770-1827): ピアノソナタ17番「テンペスト」d moll, op.31-2

M. ラヴェル (1875-1937): 夜のガスパール 1. オンディーヌ、2. 絞首台、3. スカルボ



若手音楽家育成 アヤメ基金

「若手音楽家育成アヤメ基金は、スイス・バーゼル在住の野川等(のがわひとし)が中心となり、音楽家育成および国際文化交流の促進を支援する目的で、2008年12月に創設しました。歴史的に音楽家活躍の舞台となっているスイス、特にバーゼルの音楽大学「スコラ・カントルム」は、古楽の教育・研究と普及に貢献している機関として世界に名高く、豊かな才能を持つ多くの学生が学んでいます。「アヤメ基金」は、このようなバーゼルの秀逸な環境を活かし、篤い志のもと地道な活動を展開します。

若手音楽家育成アヤメ基金は、皆様のご支援から成り立っています。

<http://ayame-foundation.com/>

理事長 野川 等 会社役員

理事 国松 孝次 元スイス大使

佐藤 来 会社役員

アレクサン德拉・N・シュテヘリン 会社社主

高久 晓 日本大学芸術学部教授

田口 博雄 法政大学大学院政策科学研究科教授

田中 哲二 中央アジア・コーカサス研究所所長

福井 俊彦 元日本銀行総裁

山下 道子 音楽学専門

事務局 久野 瑞枝